

大子町商工会 令和2年度経営発達支援計画実績評価

総合評価基準	A：大変効果があった	B：まあまあ効果があった
	C：あまり効果がなかった	D：まったく効果がなかった

1. 地域の経済動向調査

総合評価 **A**

○事業内容

- 1) 中小企業景況調査並びに町内事業者ヒアリング調査の実施
(四半期ごとに1回、30件を対象に巡回し調査する)
- 2) 各種調査情報の収集
- 3) 情報の整理・分析
- 4) 活用方法
 - ・経営革新及び新規事業展開などの事業計画策定時の資料として活用する
 - ・ホームページ上に掲載し常に閲覧できる状態にする

定量指標

支 援 内 容	目 標	実 績
景況調査事業者数	30件	30件

○この取組みに対する効果検証

- ・昨年に引き続き、30件の事業所を対象に経営指導員等3名の職員が4半期毎に巡回し聞き取り調査を行った。事業計画書の作成を専門家と連携して取り組み、経営革新の認定を受けた事業所が2件あった。令和元年度は台風19号の被害があり、茨城県被災中小企業復旧支援事業費補助金申請補助を34件行い、持続化補助金台風型申請が12件、持続化補助金一般型5件・コロナ型を4件申請した。次年度以降も事業計画策定支援に向けての参考資料として全職員で共有し対応していきたい。
- ・調査の集計及び分析結果をまとめた経済動向データをホームページ上で3ヶ月ごとにタイムリーに掲載し、小規模事業者の持続可能な事業計画の支援ができた。

2. 経営状況の分析

総合評価 **D**

○事業内容

- 1) 巡回指導等の機会を活用した経営分析
巡回訪問を通して経営の相談業務により分析の対象となる事業所をピックアップし、中小企業診断士と連携しながらSWOT分析やポジショニング分析などの経営分析を行う。
- 2) 重点産業に対する経営分析

重点産業である地域内特産品取扱企業者（観光関連業・飲食業）を中心に成長中の企業をピックアップし、上記と同様の分析を提案しさらなる成長を働きかける。

定量指標

支援内容	目標	実績
巡回訪問件数	500件	466件
経営分析件数	10件	0件

○この取組みに対する効果検証

- ・巡回訪問については新型コロナウイルス感染の影響により、その対応などで思うように目標が達成できなかった。また個店の経営分析についても実施出来ず、次年度への取り組みを目指す。

3. 事業計画策定支援

総合評価 B

○事業内容

1) 巡回・窓口指導時の事業計画策定支援

巡回相談や窓口指導時に小規模事業者からの相談等を受ける体制を整備し事業計画策定を目指す事業者の掘り起こしや事業計画策定支援を行う。

2) 小規模事業者に対するセミナー開催による事業計画策定支援

事業計画策定セミナー、創業・事業承継セミナーを定期的を開催し事業計画の策定支援を行う。

定量指標

支援内容	目標件数	実績件数
事業計画策定事業者数	10件	6件
事業計画策定セミナー (創業・事業承継含む)	6件	11件 (個別含む)

○この取組みに対する効果検証

- ・事業計画策定をめざす小規模事業者の掘り起こしを行うため茨城県の補助事業を活用し専門家と連携しながらセミナーの開催、そして事業計画書・事業継続力強化計画の作成まで個別に相談指導を行い効果的な事業計画策定を行った。目標の8件には達しなかったが、事業計画書を作成したことでそれぞれの自社の強みや弱みを検証することができ、今後の事業への取り組みを明確に捉えることができた。次年度は、さらなる掘り起こしを目標に達成したい。

4. 事業計画策定後の実施支援

総合評価 B

○事業内容

1) フォローアップ強化による実施支援

事業計画策定を支援した企業に対し3ヶ月に1度訪問し、進捗状況を確認するとともに国、県、町、よろず支援拠点等が行う支援策等の広報、案内を周知しフォローアップを実施する。

2) 事業承継、創業後の巡回・窓口指導による個別フォローアップ

事業承継、創業者に対し3か月に1度巡回指導による個別指導を行いフォローアップを継続する。また地域資源を活用した創業者には、特産品開発を視野に入れ商工会が関与するイベントへの優先参加とイベント出店に関するノウハウを提供する。

定量指標

支援内容	目標	実績
フォローアップ事業者数	10件	8件

○この取組みに対する効果検証

- これまで事業計画を策定した事業者に対して、専門家と共に事業所の訪問と3ヶ月に1度の巡回指導により進捗状況の確認や的確な指導・助言を行うことができた。また各事業所の進捗状況を把握することでの的確なアドバイスを提言することができた。

5. 需要動向調査

総合評価 B

○事業内容

1) 地域資源を活用した商品やサービスの需要動向調査

大子町の重点産業の消費拡大に向けて、奥久慈茶、奥久慈しゃも、常陸大黒豆、こんにゃく、奥久慈りんご、そば、米を活用した商品やサービスを取り扱っている個店の需要動向調査を行う。

2) 収集した商品やサービスに関する情報を関係機関や支援事業者へ提供する。

定量指標

支援内容	目標	実績
需要動向調査回数	4回	1回(件)
調査人数	100人	60人

○この取組みに対する効果検証

- 大子町を訪れるお客様のニーズを把握するため、民間の日帰り入浴施設を利用してアンケート調査を実施した。国の非常事態宣言もあり目標の6割しか実施できなかったが、来訪目的やお土産の価格帯、売れ筋商品の把握により

関係する事業者への参考データとして活用できた。

6. 新たな需要開拓に寄与する事業 総合評価 B

○事業内容

- 1) 海外商談会や国内展示会への出展支援
- 2) 町内外イベントへの参加支援
- 3) EC サイトへの出店支援
- 4) おもてなしの心意識向上セミナー開催

定量指標

支援内容	目 標	実 績
展示会等出展支援者数	5 社	3 社
展示会・商談会引合事業者数	5 社	0 社
イベント回数	4 回	1 回
イベント出展企業数	10 社	3 社
〃 内売上増加企業数	4 社	—
ニッポンネット登録企業数	4 社	—
〃 内売上増加企業数	2 社	—
おもてなしセミナー	2 回	1 回

○この取組みに対する効果検証

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で計画をすべて実行することはできなかった。実行した事業については以下の通りであった。

展示会・商談会への出展支援は、海外向け販路開拓支援事業銚田市商工会プラットフォームと茨城県商工会連合会が連携したことにより3企業を支援、web出展に参加させた。成約には繋がらなかったが複数のバイヤーから何度か見積の依頼もあり好感触を得たが課題もあった。今後は、企業と改善策を図り成約に向けて取り組む。次年度も引き続き商談（引合い）成立に向けて支援していく。またイベント参加支援については、県外主催のイベントに町内の3企業が参加し新規開拓を図った。

7. 地域経済活性化の取組 総合評価 C

○事業内容

- 1) 大子町地域振興協議会を4回開催し、地元産業の育成支援を視野に検討する
- 2) 地域イベントを開催し、特産品のPRと消費拡大を図る
- 3) 地域商品券を発行し、町内の消費拡大と町外の消費流失を防止する

定量指標

支援内容	目 標	実績件数
会議開催回数	4 回	—
イベント開催回数	4 回	—
出店者数	12 店	—
プレミアム商品券発行	1 回	1 回

敬老商品券発行	1回	1回
---------	----	----

○この取組みに対する効果検証

- ・新型コロナウイルス感染症によるイベントの縮小や中止が相次ぎ、地域の活力が低下してしまった。その中で従来の各商品券の発行と国補助事業の商品券の発行を実施し地域経済への需要喚起に貢献ができた。

8. 支援力向上の取組

○事業内容

- 1) 支援機関連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換をする
- 2) 経営指導員等の資質向上等を図る
- 3) 事業評価と見直し

定量指標

支援内容	実施の有無	評価
大子町、よろず支援拠点との情報交換を年2回行う	無	D
地域内金融機関と年3回情報交換を行う	有	A
ブロック単位の研修会に参加する	有	A
全国連、県連主催の専門的経営支援研修に年1回以上参加する	有	A
職場内OJTにより伴走型の支援能力を図る	有	B
データ化した情報や知識を月1回報告、勉強会を行う	無	D
正副会長会議において事業報告、評価・見直しをする	有	A
商工会ホームページで事業評価・見直し結果公表する	有	A

○この取組みに対する効果検証

- ・当会は小規模商工会であり、ブロック内で開催する研修会には積極的に参加し、他の商工会と広域連携を図るなど相互の情報交換や支援体制を整え活用している。
- ・OJTによる職員のスキルアップについては、伴走型補助金を活用し指導現場にも同行し知識の習得に取り組んだ。
- ・書類での情報共有は出来ているものの、データ活用での共有については不十分であり、今後とも定期的に職場内で情報交換の場を設けデータ管理意識の高揚と活用スキルアップに努める。
- ・事業評価は、正副会長会議で精査し、次年度の取り組み事項に反映させた。